

科目名	教育心理学	教員名	ほさか 保坂	かずたか 和貴	開講 コース	保育科	1年次	後期
<p>・目的と内容</p> <p>乳幼児期に子どもは何を「学ぶ」のでしょうか。そして、親や保育者をはじめとした大人たち、年齢の近い仲間たち、あるいは子どもをとりまく環境は、この時期の子どもの「学び」にどのように関係し、どのような影響を与えているのでしょうか。</p> <p>この講義では、教育心理学の知見を軸に置きつつ、近年の認知科学や学習科学の研究動向もふまえ、子どもの「学び」、さらには人間の「学び」について考えます。そして「学ぶ」という営みに保育や教育がどのような役割を果たしているのか、あるいは果たしうるのかについて考えます。</p>								
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：保育と教育心理学 2. 教育と学習：「教えること」の意味 3. 教育と学習：「学び」の意味 4. 学習と発達：学習の諸理論 5. 学習と発達：発達の諸理論 6. 乳幼児期の「情」の世界：感情について 7. 乳幼児期の「情」の世界：学びと感情 8. 乳幼児期の「意」の世界：学びと意欲 9. 乳幼児期の「知」の世界：赤ちゃんの知 10. 乳幼児期の「知」の世界：思考と記憶 11. 保育の現場から：遊びと学び 12. 保育の現場から：設定保育と協同的学習 13. 保育の現場から：行事の意味 14. 発達検査と発達障害 15. まとめ 								
<p>・講義の進め方</p> <p>板書を中心に進めますが、適宜配布資料や映像資料などを用いることもあります。またミニ・レポートを作成し、それを題材として講義を進めることもあります。</p>								
<p>・試験と成績評価</p> <p>平常点（出席、授業態度、ミニ・レポート）と期末試験により、総合的に評価します。</p>								
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>講義内容を「覚えること」も必要ですが、それ以上に講義を通して自分自身で「考えること」を重視したいと思います。教育とはどのような営みなのか、学ぶとはどのようなことなのかを、これまでの経験を振り返りつつ問い直し、自分なりの教育観・学習観を創りあげて欲しいと思います。</p>								
<p>・使用教材</p> <p>教科書：特定の教科書は使用しません。</p> <p>参考書：講義のなかで適宜指摘します。</p> <p>その他：</p>								